

# 公益社団法人日本新体操連盟

## 平成 28 年度第 3 回理事会議事録

1. 会議名： 平成 28 年度第 3 回理事会
2. 日時： 平成 29 年 3 月 1 日（水）18 時 30 分～20 時 00 分
3. 場所： 東京都港区西麻布 3-2-32  
「霞会館」
4. 構成員現在数： 15 名
5. 出席役員： 二木 英徳（会 長）石崎 朔子（副 会 長）福本 隆（副 会 長）  
池田真喜子（専務理事）渡辺 守成（常務理事）崇島 慎一（理 事）  
谷口 裕代（理 事）橋本 千波（理 事）宮嶋 泰子（理 事）  
守永 直人（理 事）  
以上 10 名
6. 欠席役員： 関田史保子（副 会 長）山崎 浩子（常務理事）秋山エリカ（理 事）  
岡 久留実（理 事）谷原 誠（理 事）小島浩二郎（監 事）  
以上 6 名
7. 議案：  
決議事項  
第 1 号議案 平成 29 年度事業計画・予算について（定款第 4,35 条関連事項）  
第 2 号議案 チャイルド選手権ルールについて（定款第 4 条関連事項）  
第 3 号議案 AGG について（定款第 4 条関連事項）  
第 4 号議案 その他
8. 議事の経過及び結果

### (1) 議長による開会宣言

（公社）日本新体操連盟・定款第 30 条第 2 項の定めにより議長を会長二木英徳がつとめ、開会宣言を行った。

### (2) 議事録署名人の選出

定款第 32 条により、議長は議事録署名人を二木会長と福本副会長と谷口理事にする事を議場に諮り承認された。

### (3) 定足数の確認

定款第 31 条の定めにより、理事会出席者数が 10 名であることが池田真喜子理事より告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。

### (4) あいさつ

議長は挨拶をすませ、池田専務理事が進行を務めるよう依頼した。

### (5) 審議事項

第 1 号議案 平成 29 年度事業計画、予算について（定款第 4,35 条関連事項）

議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

平成 29 年 3 月 11 日土曜日に平成 28 年度第 2 回総会を行う。

第 25 回全日本新体操クラブ選手権 平成 29 年 7 月 27～29 日 東京体育館 にて開催予定。  
大きな変更として、FIG ルールが変更となり申告書がなくなった。全日本新体操選手権へのシニア進出資格が上位 12 名から 15 名までと 3 名増員となった。

### (質疑・意見)

谷口理事より新しいルールに国内の審判員が慣れていないため、予選は申告書を提出する制度にしたいと提案があった。

石崎副会長より、予選など大人数では審判業務としてやるにはかなりの労力が必要で実務的に難しいと思うと意見があった。

池田専務理事が予選申告書有、決勝申告書なしで議場に確認した。

第18回全日本新体操クラブ団体選手権 平成29年8月26～27日 東京体育館にて開催予定。

先ほどと同様FIGルールが変更となり申告書がなくなったが、先ほどの方針により、申告書ありの大会としたい。

(質疑・意見)

渡辺常務理事より新ルールは海外でも審判業務が難しく、ロシア団体演技を採点できる審判がないのが現状だ。国際連盟会長として一度整理しないといけないと意見があった。

イオンカップ2017世界新体操クラブ選手権 平成29年9月29～10月1日 東京体育館にて開催予定。

第18回日本新体操 平成29年9月30日 東京体育館にて開催予定。

第20回全日本新体操チャイルド選手権 第17回全日本新体操キッズコンテスト

平成30年3月2～4日 東京体育館にて開催予定。

先ほどの方針と同様予選申告書有、決勝申告書有としたい。

(質疑・意見)

宮嶋理事より大会映像に関して、各大会要項に映像使用に関する注意書きを入れてほしいと意見があった。

以上の質疑、意見の後、全日本新体操クラブ選手権は予選が申告書有、決勝申告書なし、全日本新体操クラブ団体選手権は申告書有、全日本新体操チャイルド選手権も予選決勝申告書有。大会映像の注意書きを要項に入れる事が全会一致で承認可決された。

つづいて、平成29年度収支予算について、事業にとくに大きな変更はない。

金額は実績ベースで計上している。

指導者育成セミナーは検討休止中なので、計上なし。

全日本クラブ選手権は、昨年千葉ポートアリーナから東京体育館への会場変更のため、会場費、宿泊交通費が削減でき、462万9280円の経費削減となっている。

(質疑・意見)

二木会長よりバジテストの進捗状況の質問があった。

池田専務理事、谷口理事より第19回チャイルド選手権でテストイベントをやったこと。実施に向かって30万円の経費計上したことの回答があった。

石崎副会長より海外研修の項目があるが、現在日本の新体操界はナショナルチーム制をとっているため、ナショナルチームでない選手は海外経験を積むことが出来ない。何か海外派遣制度を設けられないかと提案があった。

宮嶋理事から日本スポーツ振興センターの補助金を使えないかと意見があった。

渡辺常務理事から振興センターは日本体操協会がいっぱい使っている。バジテストを実施して財務基盤を安定させたいと意見があった。

宮嶋理事より、幼少期から祖父母まで一緒に出来る体操界を目指したいと意見があった。

二木会長より、トップ選手を育てるような競技制重視クラブは全国で20あれば十分ではないか。より多様性を持っても良いと意見があった。

渡辺常務理事より、クラブにはスポンサーなのか、教室なのか経営基盤が無いとクラブ経営は成り立たないと意見があった。

崇島理事より競技のフィードバック制度を設けてはと意見があった。

池田専務理事よりキッズコンテストで審判にコメントを書いてもらいフィードバックしていると報告があった。

宮嶋理事よりフィギアのようにプロ指導者がいても良いのではと意見があった。

渡辺理事より過去の新体操界では、この人に作ってもらわないと点数が出ないとなった経緯がある。現状プロ指導者は新体操界でまだ時間がかかると思われると意見があった。

以上の質疑、意見の後、第1号議案「平成29年度事業計画・予算」が全会一致で承認可決された。

第2号議案 チャイルド選手権ルールについて（定款第4条関連事項）  
議長は説明者として谷口裕代理事を指名し、谷口理事は下記内容の説明を行った。

現在3・4年生の部は左右行うようルールを設けているが、FIGルールの変更もあり、よりFIGルールに近づけるため、ローテーション1個だったものを左右各1個の計2個。ダンスステップを最低1個から2個に変更したい。

（質疑・意見）  
特に意見は無かった。

以上の質疑、意見の後、第2号議案「チャイルドルールについて」は提案変更案を採用することが、全会一致で承認可決された。

第3号議案 AGGについて（定款第4条関連事項）  
議長は説明者として石崎副会長を指名し、石崎副会長は下記内容の説明を行った。

以前提案したAGGを新体操競技の一つに採用することについて、AGG準備委員会側には説明し承認を得た。AGGの概要を改めて説明すると、AGGはエスティック・グループ・ジムナスティックの略で、新体操の徒手体操と言える。カテゴリーはシニア、ジュニア、チャイルドとある。2012年よりAGG準備委員会を起ち上げていたが、連盟に入る事を前提に解散する。所属から出場できる選手が増えるのでクラブ運営にもメリットがある。

（質疑・意見）  
二木会長より新体操のカテゴリーとして良いかと確認があった。

渡辺常務理事よりFIGではAGGは新体操であり、一般体操であると認識されている。FIGでは新体操と一般体操が所管する経緯から認めていなかった。ただ新指針ではそれら体操関連種目を取りまとめる指針を設け、現在FIGで種目再編成中であることの説明があった。日本で前例を作っても良いかもしれない、新体操経験高齢者がこれをやっても面白いかもしれないと意見があった。

池田専務理事より日本新体操連盟の登録規定、大会運営で見直す点があるが確認を行い実現に向けた変更案を提出すると意見があった。

以上の質疑、意見の後、「AGGについて」は日本新体操連盟で平成29年度事業から取り扱うことが全会一致で承認可決された。

第4号議案 その他について（定款第4条関連事項）  
議長は議場にその他議案が無いか確認したがその他の議案は出なかった。

（6）閉会宣言  
議長は他に質問、意見がないのを確認し理事会の終了を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成29年3月1日

公益社団法人 日本新体操連盟 平成 28 年度第 3 回理事会

議 長 二 木 英 徳

議事録署名人 福 本 隆

同 谷 口 裕 代